

# 四国電友会会報



第 92 号

7 年10月

## 目次

NTTだより.....	2
NTTの経営形態の見直しについて.....	2
「テレホーダイ」サービス.....	3
四国でPHSサービスを開始.....	3
テルウェルだより.....	4
ふれあいパーティーを開催.....	4
男の料理教室を開催(香川).....	4
夜店ボランティアで園児と交流(今治).....	4
心身障害者(児)の方々に お見舞金をお贈りします.....	4
サークルのご案内.....	5
健康のページ(NTT松山病院第一内科部長).....	6
私は今.....	7
サークルだより(香川).....	11
人生さまざま・後半生を生きる.....	12
年金情報.....	13
お知らせ.....	14
敬 弔.....	15
余 栄.....	15
俳句(愛媛).....	15
表紙の言葉.....	15

NTTだより

〈講演〉

## NTTの経営形態の見直しについて

NTT副社長 宮津 純一郎

本講演は、去る七月七日、電友会本部の第六回評議員会終了後に行われた記念講演で、宮津副社長が述べられたものの概要であります。

この中で宮津副社長は、なぜNTTは分割すべきでないのか、その理由を五年前の論議以降、新たに生じてきた変化を四点挙げて説明されています。経営形態については、四月に電気通信審議会に郵政大臣から諮問が出ており、今審議会で審議をしています。

NTTとしては、平成七年六月二十九日の株主総会において、株主からの質問に対し、以下の主旨で回答をしました。

まず、五年前にNTTに課せられた課題（長距離通信事業と地域通信事業の事業部別収支、役務別収支明細、要員を含めた合理化努力等々の課題）について、NTTはそれなりの成果を出しましたが、分割論については、議論された五年前の電気通信事業を取り巻く環境と、現在とは大きく変化して来ております。

第一に、市内電話サービスの独占問題ですが、これにつきましては、長距離分野での競争に加え、携帯電話の急激な伸

び、本年七月よりサービスが開始されるPHS、将来の発展が見込まれるCATV電話など、ローカル分野においても、市内部門の競争が急激に進展しつつあります。また、各電気通信事業者は、他の事業者との提携を通じ、お客様にエンド・ツー・エンドでサービスを提供することが可能になって来ております。

当社はネットワークのオープン化の方針に基づき、こうした動きを支援し、各事業者に必要なネットワーク資源を提供出来るよう、要望に応じて相互接続を推進してまいりる所存であります。

第二に、近年のコンピュータ通信の発展には目を見張るものがありますが、とりわけ、パソコン、LAN、インターネットなどが急速に普及し始め、これまでの電話中心のマーケットからマルチメディアを軸とした、新しい巨大なマーケットが創出されていくものと考えられます。マルチメディア時代には、端末、ネットワーク、ソフトウェアなどを含めたエンド・ツー・エンドの総合的な情報通信サービスを提供することが必要であると考えております。

当社は、昨年一月、「マルチメディア

時代に向けてのNTTの基本構想」、つづいて本年六月には、「マルチメディアへの取組」を発表し、アクセス網の光ファイバ化を推進するとともに、「マルチメディア通信の共同利用実験」を開始するなど、その具体的な取り組みを進め、積極的なサービス開発を行ってまいりました。また、普及版マルチメディアを可能とするISDNサービスを、ほぼ全国でご利用頂けるようにするなど、通信基盤の整備にも精力的に取り組んでまいりました。

このように当社はマルチメディア時代の到来に向け、先導的な役割を果たしてきており、今後とも新たな産業発展のために、十分貢献出来るものと考えております。

第三に、本年一月の阪神・淡路大地震を機に、改めて大都市の災害対策が注目され、国をあげて検討されているところであり、通信インフラの確保につきましては、例えば、拠点の分散やデジタル化による設備の共用化など、ネットワークが一体となった対応が必要となつてまいります。

更に、災害時において迅速な復旧が出来るよう、全国から多くの社員を派遣し、全社をあげての支援体制をとるなど、ライフラインとしての通信インフラの確保に当たりましては、NTTの総合力の活用が不可欠であると考えます。

第四に、国際分野におきましても、AT&Tなど国内的には地域系と長距離系

の相互参入の動きをみせており、また、AT&TやBTなどを始めとして、諸外国電気通信事業者が活発に国際分野での事業を展開しており、当社もタイでの電話増設事業などに着手しているところであり、競争の活発化のなかで、諸外国に互ししていくためには、市内、市外を含めた総合力が必要であり、この点で当社の活動が注目されていると考えております。

以上の通り、五年前と今日とは、電気通信事業を取り巻く環境は全く異なっております。こうした観点に立ってオープンな議論が必要であります。

従って、当社といたしましては、「分割すべきではない」と考えております。電気通信における当社の総合的な運営能力を生かすことが、日本における情報通信産業の発展につながり、このことが二一世紀へ向けての日本経済を支え、国際競争に生き残る途であると考えます。今後とも、この姿勢に立って対応していく所存であります。

「テレホンダイ」サービス

NTTは、七月八日、パソコン通信向けの利用を中心として、深夜・早朝時間帯に特定電話番号への通話料金を、通信回数や通話時間の長さにかかわらず、月極めで定額料金とする「テレホンダイ」サービスを認可申請した。

これは、NTTがマルチメディア時代の使いやすい料金の先駆として導入を検討

討してきたもので、国内の通話料金に初めて定額制を導入することになる。

サービスプランは、「テレホンダイ1800」と「テレホンダイ3600」の二種類。「テレホンダイ1800」は、深夜・早朝時間帯(夜一時~翌朝八時)において、単位料金区域内(三分一〇円の区域)の二電話番号をあらかじめ指定し、その番号への通話料金を月額千八百円の定額とするサービス。(八月二二日サービス開始)

「テレホンダイ3600」は、同じく深夜・早朝時間帯において隣接区域内(二〇区までの区域外を含む)の二電話番号をあらかじめ指定し、その番号への通話料金を月額三千六百円の定額とするサービス。(第3四半期サービス開始予定)

四国でPHSサービスを開始

この一〇月からNTTパーソナル四国(中川史郎社長)は、四国の県庁所在地(松山市、高松市、徳島市、高知市)で、いよいよサービスを開始する。

サービスエリアは、当面の市街地から順次郊外へ、周辺の市町村へと拡大されることになっている。

既に、NTTパーソナル中央(東京・関東)とNTTパーソナル北海道は、七月一日からサービスを開始しており、携帯電話では難しいビルの陰や地下街でも使えて、しかも割安と好評である。

PHS端末(裏表紙の広告を参照)から電話を掛けると、基地局(ビル内、ビルの屋上、公衆電話ボックス、電柱等に

設置される)を経由してNTTの市内交換機(デジタル網)に接続され、呼んだ相手に着信する。

基地局は、通話範囲が二〇〇程度なので、カバーできるエリア面積が限られるため、相当数設置されることになるが、利用が見込まれるビル内の地下等にも手軽に設置できる便利さがある。

携帯電話と比べれば通話範囲は限られているが、次のように、新規加入料、基本使用料、通話料は割安となっているので、知人等へのPRや販売等についてのご協力をお願いしたい。

- 一 新規契約時に必要な料金  
新規加入料 四二〇〇円  
契約事務手数料 三〇〇〇円
- 二 基本使用料(月額) 二七〇〇円
- 三 通話料

●10円でかけられる秒数

(1) 「PHS⇒PHS」の通話料 **①+②=通話料**

「PHS⇒加入電話」  
「加入電話⇒PHS」

**①以下の秒数毎に10円**

	昼間		夜間	深夜・早朝
	午前8時 午後7時	土日祝 曜 日	午後7時 午後11時	午後11時 午前8時
市内	60秒			
隣接区域内	36秒			
30kmまで	36秒			
30km超~100kmまで	14秒	20秒	20秒	23秒
100km超~	9.5秒	14秒	14秒	16.5秒

**②上記の通話料のほかに通話1回ごとに10円を加算**

テルウエルだより

ふれあいパーティー開催  
シングルさんの後押しします

七月一日(土)、N T Tプラザ松山に於いて、N T TグループOBのシングルさん二十七名がパーティーを開催しました。連れ合いに先立たれた方等の出会いの場を作ろうというテルウエルの企画で、最初に、N T T松山病院産婦人科部長の今井洋子先生から、「五〇歳からの心と体の健康づくり」と題した講演を聴き、琴と尺八の合奏、自己紹介、カラオケ、全員での踊り等で、会食を挟んで交流しました。

男の料理教室を開催(香川)  
奥様は留守でもOKです

七月五日(水)、テルウエル香川営業所の初めての企画として、「男の料理教室」が、高松市文化センターで開催されました。四七名の男性OBが、元クッキングスクールの市原弘子先生の指導で、「牛肉と野菜の酢のもの・小松菜と卵の炒めもの・茄子の油炒め」等、手軽に出来るお

惣菜を調理し、料理方法を習得しました。退職者文化活動の一環として、OBの生活に変化と潤いを持ってもらうのが目的ですが、料理に自信をつけて、奥さん元気で留守がよいというむきも……。

夜店ボランティアで園児と交流  
施設から感謝の手紙(今治)

七月二日(金)、退職者の会・今治ボランティアグループ(越智宗一会長)では、今治市石井町の精神薄弱児施設・ひよこ園の夜店コーナーに九名が参加し、園児達に楽しい時間をプレゼントしました。

「かき氷」一杯一〇円で売り、園児達にお金の使い方を教えたりで、大変でしたが、お役に立てたことに満足して帰りました。

後日、ひよこ園(近藤稔園長)から、丁寧な感謝の手紙を頂きました。

七月一六日(日)、同ボランティアグループは、今治市桜井の志島海水浴場・環境クリーン作戦にも二四名が参加するなど、元気でボランティア活動に汗をかいています。

心身障害者(児)の方々に  
お見舞金をお贈りします

テルウエルでは、社会福祉事業の一環として、毎年、重度・重症の心身障害者(児)の方々にお見舞金をお贈りしています。

昨年度は三一八名の方にお贈りされました。該当される方で、これまで受給され

ていない方がおられましたら、支部社会福祉部か、最寄りの営業所までお知らせください。

対象者  
● 現職者世帯  
N T T、全電通(専従役員や書記の方)、テルウエルの現役職員の配偶者および扶養している父母又は子

● 必要書類  
○ 退職者および遺族の世帯  
ご本人か扶養している父母又は子  
ただし、有職者は該当しません。

○ 必要書類  
所定の申込書等のほか、次表の書類  
が必要で。

● お見舞金(一人につき)  
○ 重度障害者(児)の方  
年額三万円

○ 重症障害者(児)の方  
年額五万円

障害区分	申込書等に添付していただく書類
身体障害	身体障害者手帳(写) ※一級・二級の方
精神薄弱	療育手帳(写) ※A級の方
特定疾患	特定疾患受給者証(写)、または医師の診断書
小児慢性特定疾患	小児慢性特定疾患治療研究認定通知書(写)、または医師の診断書
公害健康被害補償	公害医療手帳(写)
先天性内臓疾患	育成医療券(写)
精神病	精神病院の在院証明書、またはこれに代わる診断書

サークルのご案内

テルウェル四国支部社会福祉部

県別	サークル	代表者名	連絡先	会員	会費(円)	活 動 紹 介
徳島	さくらがい (桜 貝)	中山 孝子	中山 孝子 Tel62-1396	11名	年 2000	俳句を通して、美しい日本語を学び、知的向上と親睦を。
	生け花クラブ	西崎 民子	西崎 民子 (08853) Tel 3-0610	12名	月 2600	華で社会生活充実と会員相互の親睦。 毎月第二、第四水曜日
	フレンド94	新川 要	新川 要 (0884) Tel22-3188	36名	年 1000	ハイキングで健康増進と会員相互の親睦。
	民踊クラブ	吉田ヒサミ	吉田ヒサミ (0884) Tel44-2644	13名	月 500	民踊を通じて健康の維持向上と親睦。
	かりん俳句会	堀江 邦子	堀江 邦子 Tel69-1215	17名	月 500	俳句を通じて知的感覚を養い、お互いの親睦をはかる。
高知	謡 曲 会	山下 道雄	山下 道雄 Tel47-3585	15名	年 2000	月2回、サロン「おびやまち」で。観世流、喜多流等謡曲の稽古と発表会。
	やまもも句会	大西 瓶子	大西 瓶子 Tel44-1313	32名	年 2000	月1回の割で、句会と吟行。親睦会も楽しい。
	ふ よ う 会	岡崎 花子	岡崎 花子 Tel45-1088	22名	年 3000	茶道を通じて教養を高め、併わせて親睦をはかる。
	民踊すみれ会	池内 寿子	池内 寿子 Tel43-2200	13名	年 2000	サロン「おびやまち」で、民踊で楽しい一時を。
	囲碁クラブ	近沢 美義	窪田 剛介 Tel73-1616	19名	年 2000	「プラザ高知」で技を競う。囲碁を通じて会員の親睦と融和を。
	きさらぎ会	市川 寛	市川 寛 Tel41-4567	20名	月 2500	サロン「おびやまち」で、書道の添削・指導を通じて豊かな人生を。

(注)平成7年6月現在。

小規模施設ならではの  
家庭的ムードが好評

老人福祉施設へのご案内

デイサービスは、  
レクリエーション・  
入浴・昼食・おやつ等。

やさしい  
サービスで  
安らぎの  
ひとときを!



♪ サービス内容 /  
入浴・食事・排泄等の介護サービス。

♪ 場所 /  
NTT松山病院前  
交通も便利で、清潔な  
施設です。

入所利用	デイサービス
1日~3カ月間迄	10時~15時迄
1日/5~7千円	1日/1千円

♪♪ お気軽にお問い合わせ下さい。  
TEL 0899-34-3700 (担当/渡辺)

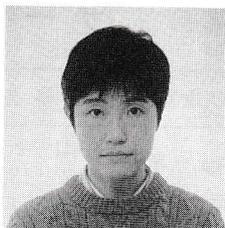
NTTグループ テルウェル愛松園  
松山市喜与町1-8

## 健康のページ

## 糖 尿 病

N T T 松山病院第一内科部長

中村 尚子



糖尿病は、血糖を下げる働きをするホルモンである『インスリン』が欠乏するあるいは効果が不足することによって血糖が上がり様々な代謝異常が起る疾患です。糖尿病は基本的に『インスリン依存型』と『インスリン非依存型』の二つの病型に分類されます。『依存型』は急激に発症し、インスリン注射を行わなければ昏睡となり死亡するタイプの病型です。一方、発症しても自覚症状に乏しく、検診で初めて見つかる糖尿病は『非依存型』です。日本では圧倒的に多いのはこのタイプなので、ここでは『インスリン非依存型糖尿病』について主に説明します。

『非依存型』では、インスリンが欠乏するというより、むしろ肥満などが原因となってインスリンに対する感受性が鈍り、その効果が十分に発揮されないために血糖値が上がります。正常では空腹時血糖は一〇〇mg/dlくらいです。血糖値が一七〇〜一八〇mg/dlを越えるようになると尿に糖が漏れ出てくるようになりますが、糖尿病が軽いうちは尿糖が

出ないこともあるので検尿だけでは糖尿病の診断はできません。あくまでも血糖値を参考に診断します。空腹時ならば一四〇以上、食後でも二〇〇以上あれば糖尿病域と言えます。一回の血糖値ではっきり診断できないときはブドウ糖負荷試験をします。ブドウ糖の入った甘い液を飲んで三〇分おきに採血し、血糖値の変化で診断します。糖尿病とまでいえないが正常範囲でもない時、『境界型』といえます。いわば糖尿病の予備軍であり、過食、運動不足などをきっかけに本格的に糖尿病に転がっていく可能性が高い人といえます。血糖が高いとなぜいけないのでしょうか。まず、血糖値が異常に高いと倦怠感、口渇、多尿といった症状があり、脱水がひどくなるに昏睡に陥り、命にかかわることもあります。しかし、自覚症状がなくても油断はできません。血糖値が二〇〇〜三〇〇くらいあっても自覚症状はないことが多いのですが、このような高血糖状態が続くと五年〜一〇年くらいたったとき、様々な合併症が起るといわれています。特に①目(網膜症)②腎臓(腎症)③末梢神経(神経障害)に糖尿病特有の病変が起るので、これを『糖尿病の三大合併症』といいます。第一の網膜症では、視力に全く変化がないうちに網膜の病変が進み、ある日突然眼底に大出血をおこして失明することもあり、眼科での定期的なチェックが欠かせません。第二の腎症は、初期には尿蛋白が出ることで気づかれます。悪化すると腎機能が低下し、尿毒症となって透析が必要になります。第三の神経障害は、四肢遠位部、特に足先の冷感やピリピリした感じで始まり、次第に上

行してきます。立ちくらみ、便秘、下痢、排尿障害といった自律神経症状も起こります。これも患者さんにとってはつらい合併症のひとつです。いずれの合併症も一度起こってしまつとなかなか後戻りはできません。糖尿病の治療の目的は、こういった合併症を起さないことにあるといってもいいでしょう。

では、これらの合併症を引き起こさないためにはどうしたらいいのでしょうか。一番の予防法は、血糖のコントロールを良くしておくことです。血糖コントロールの目安として、血糖値のほかにも幾つかの指標があります。代表的なものがグリコヘモグロビン(ヘモグロビンA<sub>1c</sub>)です。これは採血した時点からさかのぼって一〜二カ月の間の平均的なコントロール状態がわかる数値です。正常人では六%未満です。グリコヘモグロビンが多くとも七%台前半までに保たれておればまずまずのコントロールといえます。そして合併症対策として、定期的な検尿(尿蛋白のチェック)と眼底検査を怠らないことです。

治療の基本は既に皆さんがご承知のように、第一に食事療法、第二に運動療法、それで足りないところは薬で補います。つまり治療の主要な部分は患者さん自身のかかっているといえます。残念ながら、今の医学では糖尿病を完治させることはできませんが、信頼できる主治医を見つけ、患者さんと医師の二人三脚でコントロールしていけば糖尿病もそれほど怖い病気ではありません。



## 私は今

## ◇ 有光 芳郎 (室戸市)

退職後三年目、心筋梗塞になり、以後、月に一回の検診に高知の病院へ車で通院中。加齢と共に他に故障も出てきます。次第に難聴になり、会話を難渋するこの頃です。

退職後、従兄弟の供養にと、車で回った八八カ所参りが始まりで、家内と体調を見ては時々回り、後一回で一〇回目を完成することになっています。

また、雑用の合間にサツキ等の世話をし、書、表装、篆刻、水墨画等を少しかじり、ものにはならんがボケ防止にと、気が向くままに描いたり刻んだりを楽しんでおります。

## ◇ 石黒 清 (宿毛市)

会員の皆様お元気ですか。私も退職してからあつという間に一〇年余りが過ぎ、年寄りの仲間入りです。

幸い健康に恵まれ、気心の合ったOB仲間と小旅行や会食などして、結構楽しく過ごしております。

また、三年前に宿毛・大月OB会を結成。会員も六〇名を超える大所帯となり、毎月一回役員会を開き、NTTへの協力を始め、会員とご家族の皆さんで研修旅行に出かけたり、地元行政から要請のあるボランティア活動で汗を流すなど、活動の論を広げております。

そのためか、最近では地元の人からも注目されるまでになりました。何はともあれ健康第一です。お互いに体に気を付けて残りの人生を楽しく送りましょう。

## ◇ 石元 清一 (土佐市)

年金受給と息災に感謝しながら、家内は池坊生花を毎週二日教えています。

私は園芸、盆栽作りが好きで、愛好家のなかに退職された廣見茂、高橋次男さんもいて、昔話しを交えながら、いつしか意気投合。花が咲きます。

また、趣味で習っている詩吟、家屋諸設備の修理、NTTのLCR撤去の手伝い等、毎日が忙しい。

「命は食にあり」、何でも食べ、毎晩一合あまりの焼酎を「うまい」と口に出して飲む。疲労回復と長寿の秘訣ではなからうか。皆さんお元気です。

## ◇ 上田 孟久 (松山市)

再就職を終えてから一一年になる。好きて始めた木工が唯一の趣味となり、大は食器戸棚、小は小物入れ等々多彩。

子供達の口コミで輪が広がり、注文が相次ぎ、頼まれるとチャレンジしたくなるのが人情。寸法を割り出して格好を決め、組立方法を考え、試行錯誤を繰り返して、苦労の末に完成したときの喜びは格別である。

奥が深く、満足感に浸ることは少ないが、お蔭様で殆ど医者にかからず生きながらえてきたことに感謝している。

## ◇ 梅村 武 (今治市)

昭和五六年、三〇年間お世話になった公社を退職。在職中からの夢であった古い遍路道を探し求めて一五年。四国の山野を妻と共に歩きまわっています。

現地調査、資料整理と好きなことを思いのままにできる余生は感謝の毎日です。今年、古希を迎えましたが、まだまだ歩けそうです。

結願は何時のことやら古希の春何時まで健康でいられるかはわかりませんが、今後も続けるつもりでいます。

## ◇ 大佐 裕子 (高松市)

公社を退職してから一〇年。病気には縁が無いものと思っていました。今年、春に入院生活を送りました。

今は元気になり、暑さに負けないよう自重していますが、秋になれば、お休みしていた好きな運動でもしたいと思っています。

現在、町内のお世話をしながら、隣近所の方達と少しでもお話が出来るよう、機会を作っています。皆様もお元気で。

## ◇ 小松 匡 (加世田市)

鹿児島県の西南に位置する、此処、加世田市に居座って一年四月になる。

気候は高知とさほど変わらないが、東支那海から吹き上げてくる浜風が殊の外強い。桜島の噴煙も時として見舞ってくる。

近くには吹上温泉をはじめ、少し足を伸ばすと指宿など随所に名泉があり、遊ぶに事欠かないが、何せ居候の身(二女の嫁ぎ先)。請われる儘に走り使いやら孫(小二人)の相手やら、病棟の見回りやらに明け暮れている。

また、暇をみてトレーニングマシンの助けをかり、適度の汗を流し、最近習い始めた書道とやりに気を紛らはせながら、一日の締めは、さつま焼酎でダウンする今日この頃である。

夏空に かがやく星を仰ぎ見て  
友と過ごせし 四国路思う

#### ◇ 古山 正信 (松山市)

退職後テルウェルに勤めましたが一昨年卒業。現在に至っています。

昨年は、母の死亡等でアット言う間の一年でした。お蔭様にて健康で、毎日、道後の瀬戸風峠へ登って体力の維持に努めながら、月二〜三回のゴルフと退職仲間との年二回のゴルフ旅行を楽しんでいます。

また、広報委員として、地域のお世話にも精出しています。

五年前に嫁いだ長女もやっと子宝に恵まれ、これからは家族を大事にして、充実した人生を願っている昨今です。

#### ◇ 高橋 旭 (松山市)

退職後、日公会に勤務し、五年目を迎えた今日、昭和三年入社当時の諸先輩が殊の外懐かしく思い出されます。

さて、何か趣味を持ちたいと考えまして「カメラ」を購入。最初に写したのが展示会の水石でした。  
そんなことが縁となり、今では「八石の会」(神野哲之会長)に入会。水石を求めて四万十川や仁淀川、石手川などを探石しながら自然とたわむれ、健康作りに努めています。職場は電友会の隣です。是非お立ち寄りください。

#### ◇ 滝口 健次 (阿南市)

私は早八二歳になり、まだまだ元気です。これはゲートボールのお陰と感謝しています。良い友達が広がり、親善大会を月七、八回します。

一チーム五人と五人で技術を競い、優勝した時の喜びは最高です。費用は安いので長く続けられます。健康と頭の運動にもなります。

N T T退職者の四国大会に、三回参加して喜んでいきます。若い人は上達が早いから、近くのゲートボール場で練習して、若いうちから選手になってほしい。

#### ◇ 田中 昇 (高松市)

年寄りの一日は長く、一年は短いといわれています。

五七年に退職した後、六年間程第二の職場でお世話になりましたが、現在は毎日が休みで、早朝の散歩と下手な囲碁を楽しむ外に、年に四、五回バス旅行で各地を旅行しています。

若いときから血圧が高く、二〇年余に

わたって降圧剤を服用していますが、いったって元気そのものです。特にこれといった撰生はしていません。暑気払いに冷たいビールは最高です。

#### ◇ 谷條 昭平 (高松市)

第二の職場で一年程勤めて、胃を手術するため退職。昨年一月には腎臓を手術。二〇年間に四回切開しました。

体調を崩しながらも前進を心がけ、ボケ防止にと、地域では詩吟の世話係を務め、数年前より俳句を始めたり、朝の散歩で一汗流したり、歩く会にも参加しています。

また、県の長寿大学を卒業して、市の老人大学を受講したりもしています。

古希を来春に控え、健康と長寿を願いながら頑張っている昨今です。皆々様のご健勝をお祈り申し上げます。

#### ◇ 樽家 圓一 (藍住町)

この五月二日は、丁度五〇年前の昭和二〇年(大東亜戦争の末期)、私の生死を分けたフィリッピンの山中で、重傷による孤独と飢えが始まる日でした。

半世紀を余分に生きた者として、同日を記念して何かイベントでもしなければと考えておりました。

ところが、生まれて初めての手術で入院し、その日は徳島市民病院のベットの上涨了。

お陰様で経過は順調。この後、プラスアルファを皆様と共に生きて、頑張り

たいと思います。

◇ 近森三千代 (高知市)

退職して一七年になります。  
これといった大病もせず、肩、膝、腰痛などと仲良く付き合いつつ、一時間位歩く山登りに行ったり、民踊、琴と頭の体操にも出かけるように心掛けておりますが、何をしても上手にできず、劣等生で満足してやっております。

皆様もどうぞお元気で過ごしてくださいように。

◇ 土居昭三郎 (松山市)

昭和五九年三月末をもって電電を退職し、四国通信産業(株)に再就職させて頂き、八年数カ月勤務の後、義弟の農園の果物、野菜作りの手伝いをしながら、ゴルフ、海釣、朝夕のランニング等で健康維持に留意しています。

平成六年四月、兄弟五人が老人手帳持ちになった機会に、自家用車で国内旅行を年二回行うことにし、今はそれが唯一の楽しみになっております。

在職中と違った活力ある日々を大切に生きていきたいと思っています。

◇ 友近 昭夫 (松山市)

すべての職から解放されて二年。当初、自由時間が多く、とまどいの感がありました。

年一、二回の旅行を、ツアー、フルムーン、マイカーなど利用して楽しんでい

ますが、今後も出来るだけ続けていきたいと思ひます。

また、健康と趣味を兼ねて、花と野菜作りに励んでいます。モロヘイヤ、つる紫等の健康食品を始めとして、季節のものを無農薬で取り組んでいます。

年齢のことは忘れ、何時までもいろいろな事をしてみたいと思っています。

◇ 中須賀 忍 (松山市)

会報を楽しく読ませて頂いています。特に「私は今」の記事は、在職当時の数々の思い出を偲ばせてくれます。

私は退職後、生地の松山市久米に居住し一〇年半。健康診断では、時々精密検査を求められますが、異常なく、家内と二人で畑を少し耕しながら、色々のグループに参加して楽しく日々を送っています。退職後一年嘱託。自動車電話約一年、電話印刷へ時々。その間を含め町内会等のお世話役七年。今は殆どフリーでグループ活動のお世話をしています。

八月三日に、NTTパーソナル四国のPHSのサービス開始に伴い、販売応援を依頼され、多くのOBに対する説明会がありました。

移り変わる電気通信の素晴らしい発展と、競争時代の困難性をつくづく感じながら、我々OBも出来るだけの応援をしなければと、痛感した次第です。

◇ 新川マサエ (白鳥町)

宇宙へ飛ぶ遠い流れの星一つ

早一五年が夢のように過ぎました。地域の中では、老人会、倅せ会、公民館活動。それに夏は盆踊り、秋は敬老会の舞台、春は公民館祭り等々。皆さんと花いっぱい運動で楽しんでみたり、シルバ人材センターで仲良く汗を流したりしています。

また、晴耕雨読、未熟な川柳にあくせくしながら、太陽の恵みを受けて野菜作りを楽しんでいる今日この頃です。

◇ 西原 蚪 (北条市)

故あって、同期の諸氏より八年程早く退職し、今年で一〇年目。還暦を迎えた一昨年、念願であった生まれ故郷の中国東北地方(旧満州)への旅行を実現させた。

今年には戦後五〇年目。国の内外でいろいろ取り沙汰される中で、私にとつての戦後は、何といつても青春の情熱を燃やし、三〇数年を過ごした松山電報局通信課である。

先日(七月九日)、松山いよてつ健康ランドで、松電つどいの会が開かれ、思ひ出話に花が咲き楽しく旧交を温めた。

◇ 福永 宮子 (徳島市)

歳月入を待たずとか、早いもので退職してもう一六年が過ぎました。

退職後は、局の茶道サークルで一〇年程お世話になりましたが、今はそれも後輩に譲って、毎月二回位ですが、お仲間の人達と楽しくお稽古に親しんでおりま

す。また、折に触れては、お稽古を兼ねて小旅行などに出かけています。  
お蔭様で、一日一日を感謝で過ごしております。皆様のご健康をお祈りします。

◇ 藤田 利夫 (松山市)

現職を退いて早一〇年になりました。公民館業務に従事するかたわら、NTTOBボランティア松山、緑寿会等のボランティアサークルに所属。福祉ボランティアに精を出す他、県高齢者大学校同窓会、同期会のお世話役。趣味(俳句、社交ダンス、安来節泥鰌掬い、ゴルフ等)等々で充実した毎日を送っています。

退職後は、辛い風邪以外に病氣らしい病氣もせず、好きな事ややってこられた事を神に感謝しています。

◇ 堀 佳城 (香川町)

公社を退職して早一〇年。第二の職場を八年、自治会長などを二年程。でも、三年目の春に妻が急逝し、その野辺の煙を見送ったときの気持ちは忘れられない。その後どうしたって。先ず、一人で生活していくための食事や家事などの自立に、妻はもういないという現実にくじけない心が必要でした。

生き甲斐なんて、自分で探して作っていくものですよ。これからも、気儘な一り暮らしを楽しみつつ、人生達観の視野を広げていきます。

◇ 増井 義弘 (藍住町)

退職後、小さな日本茶販売のお店を開店してからもう一四年。地道に頑張っております。

最近、緑茶に制ガン作用が、殺菌作用が、ダイエットに効果が等、テレビに週刊誌に色々報道されておりますが、効果の程はどうでしょう。

他に健康維持のため、果物と野菜作りを楽しんでおります。

今年は、天候のせいか一六kgの大玉西瓜がとれ、味もよく、店のお客さんにおすそ分けをして、喜んで頂きました。

◇ 真鍋 晃 (宇多津町)

最後の職場を終えて三年。お蔭様で健康な日々を過ごしています。

健康維持のため、退職後から、毎日、ウォーキングを三〇分程度続けています。最近では、長距離を歩いても苦にならなくなりました。

また、NHKの語学講座で英会話を勉強しており、今では、聞くのが楽しみの一つになりました。先月も町主催の外人との集いに参加し、早速役立ちました。何事も「継続は力なり」を痛感している今日この頃です。

◇ 村井 庄一 (高松市)

日本で一番長い日がやって来た。会報のリストを出して見たが、お名前と顔が符合せず時間がかかる。年月の経過を知る。

歴史研究をやりたいと思っていたのが実現できて、一〇余年になる。春から体調を崩し、研修のために各地へ出かけるのは休止している。

今は、高松市の校区ごとの地域起こし事業で、風土記の編集に参画し、取りまとめの年なので暑さをぼやいてもいられない日々である。

皆さんお元気で楽しくね。

◇ 村山 悦雄 (徳島市)

公社を退職して早一六年になります。その間、現在まで続いているのは、早朝のラジオ体操会に行くことです。年中無休で準備体操を含めて、三五分間体操をします。

その後、気の合った仲間と城山に登ります。最近はそのせいかよく疲れるので、帰ってから休養します。

趣味として、步こう会、カラオケ、新舞踊を下手の横好きでやっています。

ボランティアとしては、NTTOB会に入会。他に老人クラブ、町内会の役員を細々とやっています。

◇ 横田 福市 (三野町)

六三年に退職。早七年経過。健康に恵まれ、これといった病氣はないのですが、一カ月に二回位カイロテックスで治療しています。

退職後は、子供達二人の家族と私達夫婦の年間に食べる米、野菜を作るのが仕事です。

カラオケクラブの会員になり、老人会やら文化祭等で発表したり、クラブの会員達と旅行に行ったり、好きな酒を飲みながら雑談したりして、楽しいひとときを過ごしています。

皆さんもお元気で、楽しい余生を一日でも長くお過ごしください。

### サークルだより

#### 香川電電OB俳画クラブ

中山忠彦（高松市）

当クラブは、昭和五五年三月二三日に発足しました。

発足以来、既に一五年が経過し、発足当時の会員は、皆さん卒業（？）して誰も残っていませんが、発足当初からの講師である森登士夫先生（OB）が非常にお元気で、熱心に指導して頂けることもあって、少し専門的になる当クラブも、途中一度も途切れることなく、今日まで続いて来ました。

現在、会員は一四名で、勉強会は月一回、高松にあるOBサロン「たまも」で行っていますが、東は三本松の方から西は善通寺の方からと、約一時間半もかけて通っている会員もいます。

さて、俳画とは、どんな画だろうかと思っただけでいらっしやる方が多いことと思っ

ます。  
（柳史俳画）を独創した赤松柳史先生は、「一七字をもって森羅万象を詠ずる俳句を内容として画にされたもの、それが俳

画である」と言われています。

だから、俳画は俳句と相通ずるものがあり、簡素、省略（減筆）が大切であるとされ、特に柳史俳画では、余白・空白は見る人に自由な連想を与えるものとして尊ばれています。

このように言われますと非常に難しく感じられますが、赤松柳史先生は、次のようにも言っておられます。

- 一 俳画には「約束」はない。
- 一 筆法、それに拘泥する要はない。
- 一 下手は下手なりに結構、大胆に平気で書くことが大切。
- 一 童心に帰れ、いびつの卵が出来てもよい。

以上のことを私流に解釈すれば、俳画は日本人なら誰でも描ける。数一〇分の時間で描ける。各人が自分流に自由に描ける。巧く描けなくても良いということになります。

また、このことは、各人の経験や技能レベルが違っても、同じ題材に取り組むということにもなります。

そのためか、当クラブの会員の皆さんは、経験年数はまちまちですが、毎月、その都度、先生から頂いた同じ手本もとに、子供になったつもりで気軽に自由に、時には筆の使い方が判らない、どうすればよいのかと苦労もしながら、俳画に取り組んでいます。

昨年は、会員全員が初めて扇子に俳画を描きました。また、OB余技作品展にも各人が自分の好きな題材で、軸装や額

装などにした作品を出品しました。

何十枚も練習して、苦労しながら描いた画が出来上がったときの楽しみは、また格別です。

始めのうちは、狸が豚になったり犬になったり、葉が皆同じ形になったりすることもありますが、一年もすれば、年賀状などに簡単な画を添えることが出来ます。どうですか、入会されませんか。

（赤松柳史著「俳画手引」より抜粋）



## ドキュメント

## 人生さまざま・後半生を生きる

## 「拓本」が生きがい

六月の晴れたある日、高松市立中央公園南側の菊地寛通りを歩いていると、第一法規出版(株)四国支社の玄関の前で初老の男女が一生懸命何かに取り組んでいた。二つ建っている石碑の向かって左側の石碑に白い画箋紙を貼付し、霧吹きで水を吹きかけ乾いたタオルで押さえ水分を取った後、墨汁をしみこませた「たんぼ」で叩くと、黒地に白字で、

『不実心不成事不虚心不知事』

の文が写し出された。右側の石碑には、『菊地寛生家跡』と刻印されていた。この採拓に見とれているうちに、私の脳裏にMさんの顔が浮かびました。

Mさんは、昭和五四年四月に日本電信電話公社を退職した。さて、これから何をしようかどう生きて行こうかと思案しているときに、友人に誘われて小豆島で行った採拓会に行ったのがきっかけとなって、招本の幻想的な美に魅せられたそうです。

昭和五四年六月に日本拓本研究会に入会し、寺社や野や丘あるいは路傍に苔生して建っている碑を探し求めて東奔西走し、行く先々のお寺の住職さんや神主さんと対話したり、教育委員会の方や同好の友人等とのふれ合いにより、人脈のネットワークが形成され、あの場所には「この地には」こんな石碑がある等の情報を提供してくれるようになった。もともと書道を愛し、東洋書道学会に入会

しており、昭和五四年に同会の師範となっている。碑等に刻まれた「和歌」「短歌」「俳句」等詠み人の想いを知るために、その方の勉強にも励んだとのことだ。

次に、採択したものを作品化するために表装の勉強をし、最初の頃は裏打ちもなかなかうまくいかず、二回、三回とやり直したことがあったそうです。それでも時間が経つのを忘れて、深夜二時、三時まで夢中で取り組んだ由、その熱意が伺われます。

かくして二年有余、親から譲り受けた水田を耕作しながら拓本作り一筋に情熱を注いで来られ、昭和五六年八月にNHK高松放送局ギャラリーにて、第一回ふるさとの文学碑拓本展(個展)を開催し、平成五年九月まで十三回も開催しております。その個展を見た、NHK高松文化センター支社長からの要請により、NHK高松文化センター「楽しい拓本と表装」教室の講師をすることになりました。講座は月四回で、うち二回は初級者をあと二回は中級者を対象に受講者は毎回二十名程度だそうです。その後も講座はずっと続いています。また、平成五年五月には香川拓本会を結成しました。会員は三六名(うち電友会会員七名)で県内はもとより、県外へも採択に出掛けて行くとのことだ。

Mさんの手により既に作品化した拓本は約千点に達し、まだまだ増えていくと思われる。その作品の中から公共の施設である記念館や資料館等へ寄贈し、同館に展示されている。平成六年二月にはMさんが拓本生活の間に探し求めた文学碑を集約して「讃岐の文学碑」を刊行した。その本により、讃岐の文化、歴

史、風土を知るよすがとなり、文学を親しむ人、拓本を愛する人、また文学碑めぐりなどされる人々のよきパートナーになれば、と発刊したものである。

一方、香川電友会の役員として、会の運営について有意義な意見をだしてくれました。またボランティアNTT高松OB会の諸行事にも積極的に参加し活動しています。

家庭では子供さん達がそれぞれに独立した今、料理上手な奥さんの手料理で、晩酌に一本のビールを二人で分かち合い一日の疲れを癒している。

企業OBペンクラブ会長、八木大介氏は老後の生活について次のように書いている。

「六十歳からの知的生活」(日本実業出版)

『老後の生活には大きく分けて三つの方向がある。第一は下手に生きることであり、ボケや寝たきり、醉生夢死の類である。もちろんこれには運命的なものもあって、神の脚本がそうなっていれば、人智ではどうしようもないが、問題は本人の無知やうっかり、不心得でその方向に行った場合である。二番目は平凡な生き方である。特別に何も考えず、大した努力もなかったが、結果はうまくいったという人生である。テレビ・コマーシャルで有名な「百歳、百歳」のきんさん、ぎんさんなどはこの部類に属するだろうし、ある意味ではこういう人生が一番幸福かもしれない。そして三番目がうまく生きる方法がある。これには晴耕雨読や趣味(文化、芸術)、ボランティアもあるうし、死ぬ前の日まで働いていたということも、自己満足としては大きな(以下一四ページへ続く)

年金情報

厚生年金と共済年金の相違点について

一 はじめに

今、日本の公的年金制度は、厚生年金、共済年金（旧三公社を含む）、国民年金に分かれていて、制度ごとの違い（共済年金の制度内の違い等を含む）が、年金一元化問題の発端になったといわれています。

そこで一元化では、これら年金制度を長期的に維持できる制度に改め、どの制度に加入していても、定額部分や報酬比例部分については同じ年金を出し、保険料も大体同じにしたいというねらいがあります。

今回から数回にわたり、我々が受給している共済年金（国家公務員等共済組合法が適用されている年金）と厚生年金の現制度での相違点について考えてみることにします。

一回目は、老齢厚生年金と退職共済年金の相違点についての説明です。

二 被保険者の資格喪失年齢

厚生年金は、六五歳で被保険者（組合員）の資格を喪失しますが、共済年金には、資格喪失の年齢制限はありません。

つまり、厚生年金に加入している人は、六五歳になると、仕事を続けていても老齢厚生年金が支給されるのに対して、共済年金に加入している人は、六五歳になっても、仕事を続けている限り、退職共済年金は支給されないということです。

このことは、厚生年金は「老齢」ということに着目して年金を支給し、共済年金は「退

職」ということに着目して年金を支給しているということに起因するものです。

三 年金額の計算式

老齢厚生年金と退職共済年金の年金額計算式は、基本的には同じですが、退職共済年金には職域加算部分があります。

したがって、在職中の標準報酬月額及び組合員期間が全く同じであれば、退職共済年金の方が職域加算部分（額は少ない）だけ年金額が多いということになります。

○六四歳までの年金額  
老齢厚生年金額＝定額部分＋報酬比例部分  
＋（加給年金額）

退職共済年金額＝定額部分＋報酬比例部分  
＋職域加算部分＋（加給年金額）

（注）加給年金額は、配偶者等に対するもので、  
○六五歳以降の年金額  
六五歳以降は、老齢厚生年金、退職共済年金の定額部分が、国から支給される老齢基礎年金（国民年金）になります。（受給総額は六四歳以前と同額）

四 特別支給年金の支給開始年齢

老齢厚生年金も退職共済年金も、本来は六五歳（注参照）から支給されることになっており、これを本来支給の老齢厚生年金及び本来支給の退職共済年金と称していますが、一定の要件に該当する方（老齢基礎年金の資格期間を満たしている人）は、六五歳前から年金を受給することができます。

この六五歳前に受給する年金を、満額年金となる場合も含めて、特別支給の老齢厚生年金又は特別支給の退職共済年金と称していま

す。

なお、特別支給の老齢厚生年金の支給開始年齢は六〇歳で、特別支給の退職共済年金のそれも同様（平成七年六月三〇日までは、五九歳であった）になっています。

（注）昨年十一月の年金関連法案の成立に伴い、満額年金の支給開始年齢（現在は六〇歳）は、平成一三年から三年刻みで段階的に引き上げられ、平成二五年から六五歳になります。

このため、平成一三年からは、六〇歳から満額年金になるまでの間、満額年金の一部（定額部分を除いた額）が支給されることになっています。

五 年金受給者が他の制度に加入した場合

厚生年金受給者が、共済年金に加入した場合又は共済年金受給者が厚生年金に加入した場合の扱いは、次のようになっています。

○厚生年金受給者が共済年金に加入  
厚生年金はそのまま受給し、共済年金の掛け金を納付。共済年金脱退後は、厚生年金＋共済年金を受給。

○共済年金受給者が厚生年金に加入  
共済年金はその一部を受給し（給与所得に応じて最大九割の支給停止を受ける）、厚生年金の掛け金を納付。厚生年金脱退後（又は六五歳到達後）は、共済年金＋厚生年金を受給。

また、共済年金受給者が共済組合制度が適用されているNTTの関連会社（共済組合の指定法人）に再就職した場合で、指定法人に常時勤務する者は、国家公務員等共済組合法が適用されることになっていることから、共

済年金は全額停止となり、指定法人退職後にその指定法人にあった期間を含めた年金が支給されることになります。

なお、指定法人に期間を定めて雇用される者、日々雇い入れられる者など常時勤務しない者は、国家公務員等共済組合法が適用されないことから、共済年金は停止されません。

六 支給の繰上げ、繰下げ  
「支給の繰上げ」、つまり特別支給の支給開始年齢（六〇歳）到達前に年金を受給できるという制度は、共済年金だけに存在する制度で、本人の申し出により（昭和一五年七月一日以前に生まれた方に限る）、最大一〇年間の繰上げを行うことができます。

なお、繰上げ支給を受けた場合は、一年について四〇％減額され、減額後の年金を一生受けることとなります。

次に「支給の繰下げ」、つまり本来支給の支給開始年齢（六五歳）到達後に年金を据え置いて、年金額を増加して支給するという制度ですが、これは厚生年金だけに存在する制度で、五年を超えるまで繰下げることができ、この場合、八八％の加算になります。

なお、支給の繰下げは、老齢基礎年金の申出と同時にを行うことになっています。

七 おわりに  
新聞によれば、内閣の下に設けられた「公的年金制度の一元化に関する懇談会」は、七月二六日、旧三公社の共済年金を、厚生年金に統合することが妥当と提言する最終報告書をまとめたといえます。

この内容は、今後開かれる公的年金制度関係閣僚会議に報告され、厚生省など関係当局

はこれを受けて、平成九年四月から新しい制度による実施を目指し、法案作成にはいることになっていきます。

### お知らせ

#### 新宿本社ビルにOBサロンを開設

NTTの新宿本社ビルの完成にともない、電友会本部は、東京都新宿区西新宿三一九一、NTT本社ビル内の低層棟二階へ移転しました。

電友会本部事務室の隣には、OBサロンが開設されましたので、会員の方は、電友会会員証かNTT共済組合保養所メンバー証を持参して入館して下さい。

なお、高層棟（NTTオフィス）への入館については、高層棟受付にて入館手続きを行い、NTT社員と同行（IDカードを要するため）することになっていますが、高層棟の福利厚生施設（売店・社員食堂等）の利用については、本部事務室で入館バッチを着用して低層棟から入館出来ますので、ご利用下さいますようご案内いたします。

#### 電気通信工事協会賞の受賞者

去る六月一四日、永年にわたる電信電話工事並びに電気通信設備業界の発展に寄与されたご功績により、社団法人電信電話工事協会の村上治会長から、早瀬勝幸様（板野町）に電気通信工事協会賞が贈られました。

#### 電友会本部

#### 理事会・評議員会を開催

七月七日、第一三回理事会が開催され、六車本部長が出席。引き続き開催された第六回評議員会には、松本義則、中井正明の両評

議員も出席して、平成六年度事業報告（会組織の強化、会員の親睦活動、NTTとの強調関係、会員のボランティア活動に対する表彰の実施、会員の福祉向上施策、僚友団体との連携等）、同収支計算書等を承認し、平成七年度事業計画（案）、同収支予算書（案）を審議し可決しました。

なお、会議終了後、「NTTの経営形態の見直しについて」と題して、NTT代表取締役副社長、宮津純一郎氏の講演がありました。（巻頭参照）

#### 事務局からの連絡事項

新しく会員になられた方も多いので、次の場合には、各県支部の事務局までご連絡下さいますようお願い致します。

- 会員が二カ月以上病床にある場合（見舞金をお届けすることになっています）
- 会員又は配偶者が死亡した場合（弔慰金をお届けすることになっています）

なお、会員又は配偶者が死亡した場合、NTTにも連絡しております。

#### （二二ページより）

ろう。こういう生き方に対して、われわれのねらう知的生活とは、もちろん三番目のカテゴリーに属する。」

Mさんはまさしく三番目がびたりとあてはまる。Mさんがおっしゃった。「拓本は最高に素晴らしい。身体が続く限り拓本を作成して行くのが生きがいである。」

目は輝き、晴々とした顔、そして背筋のピンと伸びた、とても七二歳とは思えないMさんの今後ますますの活躍を期待しています。

（鹿庭編集委員記）

敬 弔

次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。

氏 名	死亡年月日	享年	所 属
渡部 兼良様	7・6・6	79	松山
鳥飼 一太郎様	7・6・22	89	松山
尾形 新太郎様	7・6・25	65	徳島
内田 新太郎様	7・6・27	67	丸亀
長尾 和昌様	7・7・12	64	松山
近藤 和雄様	7・7・29	62	松山
川上 卓郎様	7・8・1	66	松山
小松 栄枝様	7・8・3	65	高知
桑原 宇一様	7・8・6	86	鴨島
藤田 計様	7・8・15	91	丸亀
坪内 サカエ様	7・9・2	83	高松
白石 忠勝様	7・9・12	68	伊予
三好 章雄様	7・9・13	62	北条
佐野 善信様	7・9・19	81	高松

テルウェル社会福祉部では、次の番号により、訃報等をお知らせしております。  
〇二二〇—四七—二九四一

余 栄

次の方々は生前のご功績により、死亡の日をもって叙位叙勲の栄に浴されました。

故 徳丸 龍雄様 正七位勲六等瑞宝章  
鳥飼 一太郎様 正五位

俳 句

友佳里俳句会（愛媛）

秋白し坐すれば佛と合う視線 高本たかし  
 温泉の桶のこんと鳴りたる今朝の秋 岡内 傳  
 女盛り男盛りとおどり連 後藤 波久  
 邯鄲に耳を澄ませば肩の触れ 二神 三郎  
 この町に生まれて老いて秋燕 月原 葉子  
 商品で啼く鈴蟲に耳たてて 松末 子曉  
 職退きて蟻の道より逸れけり 穴吹 義教  
 城の灯に夜々の月満ち望近し 仲谷あきら  
 ダム涼し驚一羽着き一羽着く 佐々木たけし  
 頭陀のもの衛門へ頒ち施餓鬼寺 坂口 好史  
 得度式坊主頭の涼しさよ 北 哲舟  
 届きたる手作りの芋手書きメモ 寅岡ひでお  
 長屋門今に残りて蟬時雨 木下 南海



表紙の言葉

秋 莊野 丹秀（内海町）

芒の穂が始めると急に秋風が身にしみる。今月は幼友達が二人亡くなった。無情の風がひとしを淋しい。紅顔の美少年のあの頃の姿が懐かしい。

編集後記

昨年は営業窓口の統合再編、今年は大支店化に、テレコムエンジンニアリング四国、パソナル四国等グループ会社の切り出しと、NTT四国の動きは急ピッチである。

そうした中で、NTTの分離・分割問題が再び俎上に上がっている。分割後初めてとはいえ、「運賃値上げ」を申請するというJR四国等三社の状況を考えるとき、分割問題の先は見えていくように思うのだが……。（愛原）

原稿募集

一 近況短信（二百字程度）  
二 サイ歌、俳句、川柳  
三 切歌、俳句、活動状況等（写真可）  
の投稿をお待ちしています。会員多数から

四国電友会 第九二号  
 編集発行 松山支店 四国地方本部  
 電話 〇二二〇—四七—二九四一  
 印刷 株式会社

NTTからの大切なお知らせ

今年の12月3日から  
松山地区の  
市内局番が  
3ケタ  
になります。

キャンペーンキャラクター  
「キュービッド」



近年、松山地区の加入電話・ポケットベル等の需要が増え  
つづけており現在ご利用いただいている2ケタの市内局番が、  
平成8年早々には、お客様の新たな電話申し込みにお応え  
できなくなることから、現在の市内局番の前に「9」をつけて3ケ  
タに変更させていただくことになりました。

市内局番の頭に**9**がつけます。

市外局番 市内局番  
**0899-△△-□□□□**  
〈12月3日から〉 ↓  
**089-9△△-□□□□**



●市外局番「0899」地域内の通話については、現在の2ケタの市内局番の前  
に「9」をつけてダイヤルすることになります。●市外局番「0899」地域外から、お  
かけになる場合のダイヤル操作は従来と変わりません。



# PHSはNTTパーソナルのPALDIO

パルディオ

## パルディオ・シリーズ

メモリー機能が充実、1100本の電話帳番号を登録可能。



(機種名)  
**PALDIO 101S**

4種類の中心部と総機種の1100本の電話帳番号を登録可能、最高400時間。



(機種名)  
**PALDIO 102S**

持ち運びに便利な厚さ2mmの薄型フォルム。



(機種名)  
**PALDIO 101P**

着信音は独自の設定が可能。



(機種名)  
**PALDIO 101N**

お申し込み・お問い合わせは… **NTTパーソナル四国** フリーダイヤル ☎ **0120-898956** ワクワクコール  
受付時間 / 9:00~17:00(月曜日~金曜日) ●土曜日・日曜日・祝日は休業とさせていただきます。